

エリザベト演奏グレード検定試験課題 弦楽器
(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ) 【最新版】
(コントラバス・ハープ・ギター・マンドリン)

【留意事項】

1. 暗譜の有無は科目によって異なります。
暗譜を必要とする科目＝声楽、ピアノ、弦楽器、副科ピアノ
ただし声楽、弦楽器の当日指定の課題については、暗譜の必要はありません。
暗譜を必要としない科目＝オルガン、チェンバロ、管楽器、打楽器
ただしオルガンのピアノ課題は暗譜です。
2. 任意の1曲は、クラシック作品あるいはそれに準ずるものとします。
3. 伴奏については以下の通りです。
伴奏を必要とする科目＝声楽(全グレード)、管弦打楽器(グレード7以上)
伴奏を任意とする科目＝管弦打楽器(グレード1～6)
※伴奏者は受験者が用意すること。ただし、声楽の技術課題コンコーネ当日1曲指定の場合のみ、本学が伴奏者を用意します。
4. グレード6の受験には、グレード5(1つ下のグレード)の取得が必要です。グレード7以上についても同様です。
5. 申込方法は、エリザベト音楽大学発行の『受験案内』を参照ください。

ヴァイオリン

グレード1

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) シャープ3つ、フラット2つまでの任意の調の1オクターブの音階(1弓2音で)。
- (2) 以下の中から任意の1曲。
《篠崎バイオリン教本》第1巻
《新しいバイオリン教本》第1巻

楽曲

《篠崎バイオリン教本》第1巻より、以下の中から任意の1曲。

- スペイン民謡：《ちょうちょう》
ドイツ民謡：《むすんでひらいて》
オードウェイ (Ordway)：《旅愁》
篠崎 編：《キラキラ星変奏曲》

グレード2

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 第1ポジションでの任意の調の2オクターブの音階(1弓4音で)。
- (2) 以下の(a)～(c)の中から1つを選択。
 - (a) 《篠崎バイオリン教本》第2巻より任意の1曲。
 - (b) H.E. カイザー H.E. Kayser：《36の練習曲》op.20より第12番までのの中から任意の1曲。
 - (c) 《新しいバイオリン教本》第2巻より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(c)の中から1つを選択。

- (a) O. リーディング O. Rieding : 《ヴァイオリン協奏曲 ト長調》第1楽章又は第3楽章
- (b) F. ザイツ F. Seitz : 《ヴァイオリン協奏曲第2番 ト長調》op.13 第1楽章又は第3楽章
- (c) F. ザイツ F. Seitz : 《ヴァイオリン協奏曲第5番 ニ長調》op.22 第1楽章又は第3楽章

グレード3

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ハイポジションを含む任意の調の2オクターブの音階（1弓4音で）。
参考例：《篠崎バイオリン教本》第3巻8～9ページ。
- (2) 以下の(a)～(c)の中から1つを選択。
 - (a) 《篠崎バイオリン教本》第3巻より任意の1曲。
 - (b) H.E. カイザー H.E. Kayser : 《36の練習曲》op.20より第13～24番の中から任意の1曲。
 - (c) 《新しいバイオリン教本》第3巻より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(d)の中から1つを選択。

- (a) ヴィヴァルディ A. Vivaldi : 《ヴァイオリン協奏曲 イ短調》op.3-6 第1楽章又は第3楽章
- (b) C. ダンクラ C. Dancla : 《主題と変奏 Air Varié 第6番》op.89-1
- (c) J. フィオッコ J.Fiocco : 《アレグロ》
- (d) H. ビショップ H.Bishop : 《ホーム スイート ホーム変奏曲 Home Sweet Home Variations》

グレード4

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ハイポジションを含む任意の調の2オクターブの音階（1弓8音で）。
参考例：《篠崎バイオリン教本》第4巻9ページ、新しいバイオリン教本第4巻24番。
- (2) 以下の(a)～(c)の中から1つを選択。
 - (a) 《篠崎バイオリン教本》第4巻より任意の1曲。
 - (b) H.E. カイザー H.E. Kayser : 《36の練習曲》op.20より第25～36番の中から任意の1曲。
 - (c) 《新しいバイオリン教本》第4巻より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(c)の中から1つを選択。

- (a) H. エックレス H. Eccles : 《ヴァイオリン・ソナタ ト短調》全楽章
- (b) A. ヴィヴァルディ A. Vivaldi : 《ヴァイオリン・ソナタ イ長調》op.2-2第1及び第5楽章
- (c) J. アッコラーイ J. Accolay : 《ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調》

グレード5

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) フレッシュ : 《音階教本》より任意の長調の第5番（ハ長調のスラーで、J=120）。
- (2) R. クロイツェル R.Kreutzer : 《42の練習曲》より第23番までの中から任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(f)の中から1つを選択。

- (a) J. S. バッハ J. S. Bach : 《ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調》BWV1041 第1楽章

- (b) J. S. バッハ J. S. Bach : 《ヴァイオリン協奏曲第2番 ホ長調》 BWV1042 第1楽章
- (c) P. ローデ P. Rode : 《ヴァイオリン協奏曲第7番 イ短調》 op.9 第1楽章
- (d) P. ローデ P. Rode : 《ヴァイオリン協奏曲第8番 ホ短調》 op.13 第1楽章
- (e) G. ヴィオッティ G. Viotti : 《ヴァイオリン協奏曲23番 ト長調》 第1楽章

グレード6

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) フレッシュ : 《音階教本》より任意の短調の第5番 (ハ長調のスラーで、 $J=120$)。
- (2) R. Kreutzer : 《42の練習曲》より第24～42番の中から任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(d)の中から1つを選択。

- (a) W. A. Mozart : 《ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調》 KV 216 第1楽章
- (b) G. Viotti : 《ヴァイオリン協奏曲第22番 イ短調》 第1楽章
- (c) C. Beriot : 《Scène de ballet》 op. 100
- (d) H. Vieuxtemps : 《Ballade et polonaise》 op. 38

グレード7

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) フレッシュ : 《音階教本》より任意の調の第6、7、8番の最初の4小節 ($J=40$)。
- (2) P. Rode : 《24 Caprices》の中から任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(f)の中から1つを選択。

- (a) W. A. Mozart : 《ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ長調》 KV 218 第1楽章
- (b) W. A. Mozart : 《ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調》 KV 219 第1楽章
- (c) M. Bruch : 《ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調》 op. 26 第1楽章又は第3楽章
- (d) H. Vieuxtemps : 《ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ短調》 op. 31 第1楽章又は第4楽章
- (e) H. Vieuxtemps : 《ヴァイオリン協奏曲第5番 イ短調》 op. 37 カデンツの前まで
- (f) H. Wieniawski : 《ヴァイオリン協奏曲第2番 ニ短調》 op. 22 第1楽章又は第3楽章

グレード8

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) J. Dont : 《24 Etüden und Capricen》 op.35より任意の1曲。
- (b) N. Paganini : 《24 Capricci》 op.1より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(f)の中から1つを選択。

- (a) F. Mendelssohn-Bartholdy : 《ヴァイオリン協奏曲 ホ短調》 op. 64 第1楽章又は第3楽章
- (b) E. Lalo : 《Symphonie espagnole》 op. 21 第1楽章又は第5楽章
- (c) C. Saint-Saëns : 《ヴァイオリン協奏曲第3番 ロ短調》 op. 61 第1楽章又は第3楽章
- (d) C. Saint-Saëns : 《Introduction et rondo capriccioso》 op. 28
- (e) A. Dvořák : 《ヴァイオリン協奏曲 イ短調》 op. 53 第1楽章
- (f) J. S. Bach : 《無伴奏ソナタ》の3つのフーガから任意の1曲。

グレード9

技術課題

N. Paganini : 《24Capricci》 op. 1 の中から任意の1曲。

楽曲

以下の(a)~(f)の中から1つを選択。

- (a) N. Paganini : 《ヴァイオリン協奏曲第1番 ニ長調》 op. 6 第1楽章
- (b) P. I. Tchaikovsky : 《ヴァイオリン協奏曲 ニ長調》 op. 35 第1楽章又は第3楽章
- (c) A. Glazunov : 《ヴァイオリン協奏曲 イ短調》 op. 82 カデンツの後まで
- (d) J. Sibelius : 《ヴァイオリン協奏曲 ニ短調》 op. 47 第1楽章又は第3楽章
- (e) J. Brahms : 《ヴァイオリン協奏曲 ニ長調》 op. 77 第1楽章
- (f) J. S. Bach : 《無伴奏ソナタとパルティータ》 BWV1001~1006より1つのソナタ又は1つの組曲。

グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

技術課題

N. Paganini : 《24 Capricci》 op. 1 より任意の1曲。

楽曲

以下の(1)及び(2)。

- (1) 次の4曲から任意の1曲
 - J. S. Bach : 《無伴奏ソナタ第1番 ト短調》よりフーガ
 - 《無伴奏ソナタ第2番 イ短調》よりフーガ
 - 《無伴奏ソナタ第3番 ハ短調》よりフーガ
 - 《無伴奏パルティータ第2番 ニ短調》よりシャコンヌ
- (2) 次の3曲より任意の一曲（全楽章）
 - J. Brahms : 《ヴァイオリン協奏曲 ニ長調》 op. 77
 - J. Sibelius : 《ヴァイオリン協奏曲 ニ短調》 op. 47
 - P. I. Tchaikovsky : 《ヴァイオリン協奏曲 ニ長調》 op. 35

ヴィオラ

グレード1

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) A. カース A. Carse : 《ヴィオラスクール Viola School》第1巻より任意の1曲。
- (b) E. クロイツ E. Kreuz : 《ヴィオラのための練習曲集 Select Studies for Viola》第1巻より第17番までの中から任意の1曲。

楽曲

任意の1曲。

グレード2

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) A. カース A. Carse : 《ヴィオラスクール Viola School》第2巻より任意の1曲。
- (b) E. クロイツ E. Kreuz : 《ヴィオラのための練習曲集 Select Studies for Viola》第1巻より第18~30番の中から任意の1曲。

楽曲

任意の1曲。

グレード3

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) A. カース A. Carse : 《ヴィオラスクール Viola School》 第3巻より任意の1曲。
- (b) E. クロイツ E. Kreuz : 《ヴィオラのための練習曲集 Select Studies for Viola》 第2巻より任意の1曲。

楽曲

任意の1曲。

グレード4

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) A. カース A. Carse : 《ヴィオラスクール Viola School》 第4巻より任意の1曲。
- (b) E. クロイツ E. Kreuz : 《ヴィオラのための練習曲集 Select Studies for Viola》 第3巻より任意の1曲。

楽曲

任意の1曲。

グレード5

技術課題

以下の(a)~(c)の中から1つを選択。

- (a) A. カース A. Carse : 《ヴィオラスクール Viola School》 第5巻より任意の1曲。
- (b) E. クロイツ E. Kreuz : 《ヴィオラのための練習曲集 Select Studies for Viola》 第4巻より任意の1曲。
- (c) H. カイザー H. Kayser : 《36の練習曲》(ヴィオラ版) より任意の1曲

楽曲

G. P. テレマン G. P. Telemann : 《ヴィオラ協奏曲 ト長調》第1楽章

グレード6

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) H. Kayser : 《36の練習曲》(ヴィオラ版) より任意の1曲。
- (b) J. Dont : 《24 の練習曲》 op. 37 (ヴィオラ版) より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1つを選択。

- (a) J. S. Bach : 《無伴奏組曲》(ヴィオラ版) BWV1007よりプレリュードと任意の舞曲。
- (b) J. S. Bach : 《無伴奏組曲》(ヴィオラ版) BWV1008よりプレリュードと任意の舞曲。
- (c) J. S. Bach : 《無伴奏組曲》(ヴィオラ版) BWV1009よりプレリュードと任意の舞曲。

グレード7

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) B. Campagnoli : 《41 Caprices》 op. 22より任意の1曲。
- (b) R. Kreutzer : 《42の練習曲》(ヴィオラ版) より第10~23番の中から任意の1曲。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。

- (a) J. C. Bach : 《ヴィオラ協奏曲 ハ短調》第1楽章、カデンツあり

- (b) A. Hoffmeister : 《ヴィオラ協奏曲 ニ長調》第1楽章、カデンツあり
- (c) C. Stamitz : 《ヴィオラ協奏曲 ニ長調》op. 1 第1楽章、カデンツあり

グレード8

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) B. Campagnoli : 《41 Caprices》op. 22より任意の1曲。
- (b) R. Kreutzer : 《42の練習曲》(ヴィオラ版)より第24~42番の中から任意の1曲。

楽曲

以下の(a)~(d)の中から1つを選択。

- (a) J. Brahms : 《ソナタ へ短調》op. 120-1 第1、3、4楽章
- (b) J. Brahms : 《ソナタ 変ホ長調》op. 120-2 第1及び2楽章
- (c) M. Reger : 《無伴奏組曲》op. 131d
- (d) G. Enesco : 《演奏会用小品》

グレード9

技術課題

以下の(a)~(c)の中から1つを選択。

- (a) J. Palaschko : 《20の練習曲》op. 36の中から任意の1曲。
- (b) R. Kreutzer : 《42の練習曲》(ヴィオラ版)より第24~42番の中から任意の1曲。
- (c) P. Rode : 《24 Caprices》より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。

- (a) N. Bartók : 《ヴィオラ協奏曲》
- (b) W. Walton : 《ヴィオラ協奏曲》
- (c) P. Hindemith の諸作品

グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

技術課題

技術課題は設けない。

楽曲

リサイタル・プログラムの演奏

チェロ

グレード1

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ハ長調の音階 (2オクターヴ)、但し1弓2音で弾くこと (指使いは自由)。
- (2) 以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) J. ウェルナー J. Wemer : 《チェロ教則本》より練習曲第1番 (Carl Fischer 版 14 ページ)。
- (b) A. シュレーダー A. Schroeder : 《基礎練習曲集》第1巻より第3、5、7番の中の任意の1曲。

楽曲

H. ベイリー H. Bayly : 《ロング・ロングアゴー (変奏曲付) Long, Long Ago》[鈴木慎一 : 《チェロ指導曲集》第2巻、所収]

グレード2

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ニ長調の音階（2オクターヴ）、但し1弓2音で弾くこと（指使いは自由）。
- (2) 以下の(a)、(b)のどちらかを選択。
 - (a) J. ウェルナー J. Werner : 《チェロ教則本》より練習曲第3～6番（Carl Fischer 版 20、22、26、27 ページ）の中から任意の1曲。
 - (b) A. シュレーダー A. Schroeder : 《基礎練習曲集》第1巻より第26～28番の中の任意の1曲。

楽曲

J. S. バッハ J. S. Bach : 《マーチ ト長調 March》 [鈴木慎一 : 《チェロ指導曲集》第2巻、所収]

グレード3

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ト長調の音階（2オクターヴ）、但し1弓4音で弾くこと（指使いは自由）。
- (3) 以下の(a)、(b)のどちらかを選択。
 - (a) J. ウェルナー J. Werner : 《チェロ教則本》より練習曲第1、第4ポジションの練習曲（Carl Fischer 版 36 ページ）。
 - (b) J. J. F. ドッツァー J. J. F. Dotzauer : 《練習曲集 113Studies》より第8番。

楽曲

R. シューマン R. Schumann : 《二人の擲弾兵 Die beiden Grenadiere》 [鈴木慎一 : 《チェロ指導曲集》第2巻、所収]

グレード4

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ヘ長調の音階（2オクターヴ）、但し1弓4音で弾くこと（指使いは自由）。
- (2) 以下の(a)、(b)のどちらかを選択。
 - (a) J. ウェルナー J. Werner : 《チェロ教則本》より練習曲第1、第3、第4ポジションの練習曲（Carl Fischer 版 40 ページ）。
 - (b) J. J. F. ドッツァー J. J. F. Dotzauer : 《練習曲集 113Studies》より第11番。

楽曲

成田為三 : 《浜辺の歌》 [鷹栖光昭 / 升田俊樹著 : 《やさしいチェロ入門》第2巻（ドレミ楽譜出版社）所収]

グレード5

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 変ホ長調又はヘ短調（旋律的音階）の音階（2オクターヴ）、但し1弓4音で弾くこと。試験時にどちらかの調を指定（指使いは自由）。
- (2) 以下の中から任意の1曲。

J. J. F. ドッツァー J. J. F. Dotzauer : 《練習曲集 113Studies》より第16、19、22、27番。

楽曲

A. ヴィヴァルディ A. Vivaldi : 《チェロ・ソナタ第3番 イ短調》 RV43 第2楽章

グレード6

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ニ長調の音階（3オクターヴ）、但し1弓4音で弾くこと。（指使いは自由）。

(2) 以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

(a) A. Schroeder : 《基礎練習曲集》第1巻より第39番又は42番。

(b) J. J. F. Dotzauer : 《練習曲集 113Studies》より第32番又は33番。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

(a) G. Goltermann : 《チェロ協奏曲第5番 ニ短調》op. 76 第1楽章

(b) J. Klengel : 《コンチェルティノー第1番 ハ長調》op. 7 第1楽章

グレード7

技術課題

以下の(1)及び(2)。

(1) ハ長調の音階(4オクターヴ)、但し1弓8音で弾くこと。(指使いはJ. Loeb : 《Gammes et arpèges》を参照)。

(2) 以下の中から任意の1曲。

A. Schroeder : 《基礎練習曲集》第1巻より第43番以降の曲。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

(a) G. Goltermann : 《チェロ協奏曲第3番 ロ短調》op. 51 第1楽章

(b) L. Boëllmann : 《交響的変奏曲 ニ短調》op. 23

グレード8

技術課題

以下の(1)及び(2)。

(1) ニ長調の音階を分散3度(4オクターヴ)、但し1弓9音で弾くこと。(指使いはJ. Loeb : 《Gammes et arpèges》を参照)。

(2) A. Schroeder : 《基礎練習曲集》第2巻より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択し、その第1と2楽章又は第2と3楽章。

(a) J. Haydn : 《チェロ協奏曲 ハ長調》Hob. VIIb : 1

(b) C. Saint-Saëns : 《チェロ協奏曲第1番 イ短調》op. 33

グレード9

技術課題

以下の(1)及び(2)。

(1) 変ホ長調の音階を分散3度(4オクターヴ)、但し1弓9音で弾くこと。(指使いはJ. Loeb : 《Gammes et arpèges》を参照)。

(2) D. Popper : 《40の練習曲》op. 73より第20番。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。

(a) J. Haydn : 《チェロ協奏曲 ニ長調》Hob. VIIb : 2

(b) A. Dvořák : 《チェロ協奏曲 ロ短調》op. 104 第1と2楽章又は第2と3楽章。

(c) R. Schumann : 《チェロ協奏曲 イ短調》op. 129 第1と2楽章又は第2と3楽章。

グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏(但しソナタは暗譜でなくてもよい)。

技術課題

技術課題は設けない。

楽曲

J. S. Bach : 《無伴奏チェロ組曲》 BWV1007～1012より任意の1曲。



コントラバス

グレード1
技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) へ長調・変ロ長調の1オクターブの音階（1弓1音）。
- (2) L. シュトライヒャー-L. Streicher：《コントラバス奏法 Mein Musizieren auf dem Kontrabass》上巻 24ページまでの中から任意の練習課題。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) F. シマンドル F. Simandl：《新ダブル・ベース教則本 New Method for the Double Bass》より、グレードの技術水準に見合う任意の1曲。
- (b) グレードに適合した任意の1曲

グレード2

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ト長調・ロ短調・ホ短調・変ト長調・変イ短調の1オクターブの音階（1弓2音）。
- (2) L. シュトライヒャー-L. Streicher：《コントラバス奏法 Mein Musizieren auf dem Kontrabass》上巻 52ページまでの中から任意の練習課題。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) F. シマンドル F. Simandl：《新ダブル・ベース教則本 New Method for the Double Bass》より第1ポジションまでの中から任意の1曲。
- (b) グレードに適合した任意の1曲

グレード3

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ホ長調・へ長調の2オクターブの音階（1弓2音）。
- (2) L. シュトライヒャー-L. Streicher：《コントラバス奏法 Mein Musizieren auf dem Kontrabass》上巻 42～93ページまでの中から任意の練習課題、又は第4ポジション内で弾ける長調・短調の音階。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) F. シマンドル F. Simandl：《新ダブル・ベース教則本 New Method for the Double Bass》より同ポジションまでの中から任意の1曲。
- (b) グレードに適合した任意の1曲

グレード4

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 嬰へ長調の2オクターブの音階（1弓2音）。
- (2) L. シュトライヒャー-L. Streicher：《コントラバス奏法 Mein Musizieren auf dem Kontrabass》上巻 113ページまでの中より任意の練習課題。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) F. シマンドル F. Simandl：《30の練習曲》より、第4番までの中から任意の1曲。
- (b) F. シマンドル F. Simandl：《新ダブル・ベース教則本 New Method for the Double Bass》より練習

課題の同ポジションまでの中から任意の1曲。

グレード5

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) シュトライヒャーL. Streicher：《コントラバス奏法 Mein Musizieren auf dem Kontrabass》上巻125ページまでの中より任意の練習課題、又は第6ポジション内で弾ける長調・短調の音階（1弓2音）。
- (2) A. Vivaldi, W. A. Mozart, G. Rossini, B. Britten, E. Grieg 等の弦楽合奏曲等の中から、任意の楽章のコントラバス・パート。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) F. シマンドル F. Simandl：《30の練習曲》より、第15番までの中から任意の1曲。
- (b) グレードに適合した任意の1曲

グレード6

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) ト長調・ト短調・嬰ト長調・変イ短調・イ長調・イ短調の音階（2オクターブ）と長3・短3・減7・属7の和音のアルペッジョ（1弓2音、各自の選択した調）。
- (2) 以下の(a)～(e)の中から1つを選択。
 - (a) J. ハラベ J. Hrabě：《86の練習曲集》第1巻より任意の1曲。
 - (b) L. シュトライヒャーL. Streicher：《コントラバス奏法 Mein Musizieren auf dem Kontrabass》上巻最終ページまでより任意の練習課題。
 - (c) J. S. バッハ J. S. Bach の《管弦楽組曲》、《ブランデンブルグ協奏曲》、又はカンタータの中から任意の楽章のコントラバス・パート。
 - (d) C. サン＝サーンス C. Saint-Saëns：《象 L'éléphant》（「動物の謝肉祭 Le carnaval des animaux」より）
 - (e) G. F. ヘンデル G. F. Handel の管弦楽曲又はオラトリオの中から任意の楽章のコントラバス・パート。

楽曲

以下の(a)～(e)の中から1つを選択。

- (a) F. シマンドル F. Simandl：《30の練習曲》より、第16番以降の中から任意の1曲。
- (b) A. ヴィヴァルディ A. Vivaldi：（チェロのための）《6つのソナタ》op. 14より任意の1曲（第1楽章）。
- (c) B. マルチェッロ B. Marcello：（チェロのための）《6つのソナタ》より任意の1曲（第1・第2楽章）。
- (d) A. カプッツィ A. Capuzzi：《コントラバス協奏曲 二長調》（第1楽章）。
- (e) グレードに適合した任意の1曲

グレード7

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 任意の全調の音階（2、又は、3オクターブ）と長3・短3・減7・属7の和音のアルペッジョ（1弓2音・3音・4音）。

(2) 以下の(a)~(c)の中から1つを選択。

- (a) J. Hrabé : 《86の練習曲》第2巻より任意の1曲。
- (b) L. Streicher : 《Mein Musizieren auf dem Kontrabass》下巻の中から任意の練習課題。
- (c) W. A. Mozart, L. v. Beethoven, J. Brahms, P. I. Tchaikovsky の交響曲、管弦楽曲より任意の楽章のコントラバス・パート。

楽曲

以下の(a)~(g)の中から1つを選択。

- (a) D. Dragonetti : 《Andante e Rondo》
- (b) H. Eccles : 《ソナタ ト短調》(第1・2、又は、第3・4楽章)
- (c) G. Tibor : 《Introduction, Thème and variations》(任意のバリエーション3つまで)
- (d) V. Pochl : 《コントラバス協奏曲 二長調》(任意の楽章)
- (e) F. A. Hoffmeister : 《コントラバス協奏曲第1番》(任意の楽章)
- (f) E. Elgar : 《Salut d'amour》op.12
- (g) J. S. Bach : 《G線上のアリア ハ長調》(管弦楽組曲第3番 二長調、第2楽章)。

グレード8

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 任意の全調の音階(3オクターブ)と長3・短3・減7・属7の和音のアルペッジョ(1弓4音・6音・8音)。
- (2) 以下の(a)~(d)の中から1つを選択。
 - (a) L. Streicher : 《Mein Musizieren auf dem Kontrabass》下巻の中から任意の練習課題。
 - (b) G. Mahler, A. Bruckner, I. F. Stravinsky, R. Strauss の交響曲又は管弦楽曲から任意の楽章のコントラバス・パート。
 - (c) F. Cerny : 《30の練習曲集》より任意の1曲。
 - (d) 以下の3作品より任意の楽章のコントラバス・パート : L. v. Beethoven : 《七重奏曲 変ホ長調》op.20、F. Schubert : 《八重奏曲 ヘ長調》op.166、D.803、L. Spohr : 《九重奏曲 ヘ長調》op.31。

楽曲

以下の(a)~(h)の中から1つを選択。

- (a) J. M. Sperger : 《コントラバス・ソナタ ホ長調》(任意の楽章)
- (b) K. D. v. Dittersdorf : 《コントラバス協奏曲 ホ長調》(第1、又は、第2・3楽章カデンツァ付)
- (c) D. Dragonetti : 《コントラバス協奏曲 イ長調》(第1、又は、第2・3楽章)
- (d) S. Koussevitzky : 《コントラバス協奏曲》op.3(第1、又は、第2・3楽章)
- (e) S. Koussevitzky : 《Valse miniature》op.1-2
- (f) E. Tavačov : 《Motive》
- (g) D. Goens : 《Scherzo》
- (h) グレードに適合した任意の1曲

グレード9

技術課題

以下の(a)~(f)の中から1つを選択。

- (a) S. Hrabé : 《32の練習曲集》第1巻より任意の1曲。
- (b) L. Streicher : 《Mein Musizieren auf dem Kontrabass》下巻の中から任意の練習課題。

- (c) K. D. v. Dittersdorf : 《ヴィオラとコントラバスのための協奏的交響曲 ニ長調》又は《ヴィオラとコントラバスの為の二重奏変奏曲》
- (d) F. Schubert : 《ピアノ五重奏曲 イ長調 (Forellen-Quintett 「鱒」五重奏曲)》 op. 114, D 667のコントラバス・パート。
- (e) G. Rossini : 《チェロとコントラバスのための二重奏ソナタ》
- (f) G. Bottesini : 《2台のコントラバスのための大二重奏曲第1番 ト長調》又は《2台のコントラバスのための大二重奏曲第2番 ハ短調》。

楽曲

以下の(a)~(h)の中から1つを選択。

- (a) J. S. Bach : 《ヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタ第2番 ニ長調》 BWV 1028 (任意の2つの楽章)
- (b) P. Hindemith : 《コントラバス・ソナタ》 (1949) (任意の1つの楽章)
- (c) A. Mišek : 《コントラバス・ソナタ第1番 イ長調》 op. 5 (任意の1つの楽章)
- (d) J. B. Vanhal : 《コントラバス協奏曲 ニ長調》 (第1、又は、第2楽章カデンツァ付)
- (e) G. Bottesini : 《Elegie ニ長調》 又は 《Introduzione e Gavotta》
- (f) M. Ravel : 《Pavane pour une infante défunte》
- (g) S. Rachmaninoff : 《Vocalise》
- (h) グレードに適合した任意の1曲

グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

技術課題

以下の(a)~(e)の中から1つを選択。

- (a) L. Streicher : 《Mein Musizieren auf dem Kontrabass》 下巻の中から任意の練習課題。
- (b) S. Hrabé : 《20の練習協奏曲と5つの大練習曲集》 第2巻より任意の1曲。
- (c) F. A. Hoffmeister : 《Solo Cb. Vn. Va. Vc. のための弦楽四重奏曲》
- (d) J. M. Sperger : 《Solo Cb. Fl. Va. Vc. のための四重奏曲》
- (e) G. Bottesini : 《Passione amorose》 (2台のコントラバスのための)、又は、《Gran duo concertante》 (ヴァイオリンとコントラバスのための)。

楽曲

以下の(a)~(f)の中から1つを選択。

- (a) H. Fryba : 《Suite im alten Stil》 (任意の2曲)
- (b) F. Schubert : 《Arpeggione-Sonate イ短調》 D 821 (第1楽章)
- (c) A. Mišek : 《コントラバス・ソナタ第2番 ホ短調》 op. 6 (第1楽章)
- (d) F. Proto : 《A Carmen Fantasy》
- (e) 以下の G. Bottesini の諸作品の中の何れか1曲 : 《コントラバス協奏曲 嬰へ短調》 (第1楽章カデンツァ付)、《コントラバス協奏曲 ロ短調》 第1楽章カデンツァ付)、《Grande-Allegro di Concerto (alla Mendelssohn)》、《Tarantella》、《Melodia》、《Allegretto Capriccio》、《Capriccio di bravura》、《Fantasia nell'opera "La sonnambula" de Bellini》。
- (f) グレードに適合した任意の1曲

ハーブ

グレード1

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) J. モルナル J. Molnar：《初心者のための実用ハーブ教本》第1巻44～45ページの分散和音のための練習曲より試験時に1曲を指定。
- (2) 同教則本より、ハ長調の1オクターブの音階（34ページの第5番）。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらか1曲を選択 【何れも、雨田光示 編著：《ハーブをあなたに》所収】。

- (a) A. ハッセルマンズ A. Hasselmans：《小さな子守歌》
- (b) C. W. グルック C. W. Gluck：《ガヴォット》

グレード2

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) J. モルナル J. Molnar：《初心者のための実用ハーブ教本》第1巻52～57ページより任意の1曲。
- (2) 同教則本より、ハ長調の音階（34ページの第7番）及びカデンツ（48ページ）。

楽曲

M. Dilling：《Old Tunes》より、第64番以降から任意の1曲。

グレード3

技術課題

J. モルナル J. Molnar：《初心者のための実用ハーブ教本》第2巻より、第1～10番の中から任意の1曲（但し、第4番を除く）。

楽曲

J. モルナル J. Molnar：《初心者のための実用ハーブ教本》第2巻より、第4番《ソナチネ》、第11番《テーマと6つのヴァリエーション》、第21番《ソナチネ》の中から任意の1曲。

グレード4

技術課題

J. モルナル J. Molnar：《初心者のための実用ハーブ教本》第2巻より、第12～20番の中から任意の1曲。

楽曲

M. Dilling：《Thirty Little Classics for the Harp》より、第24～27番、第29番の中から任意の1曲。

グレード5

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) J. モルナル J. Molnar：《初心者のための実用ハーブ教本》第2巻より、第22～29番の中から任意の1曲。
- (2) 同教則本より、第30番の技巧練習の中から、試験時に1つを指定。

楽曲

M. トゥルニエ M. Tournier : 《4つの前奏曲 4 Préludes》より任意の1曲。

グレード6

技術課題

R. N. C. Bochsa : 《Célèbres Études》op. 318 第1巻より任意の1曲。

楽曲

J. L. Dusik : 《6つのソナチネ》より任意の1曲。

グレード7

技術課題

R. N. C. Bochsa : 《Célèbres Études》op. 318 第2巻より任意の1曲。

楽曲

F. J. Naderman : 《Sept Sonates progressives》より任意の1曲。

グレード8

技術課題

R. N. C. Bochsa : 《Célèbres Études》op. 62より任意の1曲。

楽曲

J. Parry : 《ハープ・ソナタ第1番 二長調》

グレード9

技術課題

E. Schmidt : 《6つの練習曲》より任意の1曲。

楽曲

L. Spohr : 《Fantasieハ短調》op. 35

グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

技術課題

F. J. Dizi : 《48の練習曲》より任意の1曲。

楽曲

C. P. E. Bach : 《ハープ・ソナタ ト長調》Wq 139

ギター

グレード1

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) A. セゴビア A. Segovia : 《長調と短調の音階 Diatonic Major and Minor Scales》(Columbia Music Co.)
よりハ長調及びイ短調の音階。
 - (2) 以下の(a)及び(b)。
- (a) F. カルッリ F. Carulli : 《45の練習曲》より任意の1曲。
 - (b) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《120のアルベッジョ》より第1～10番の中から試験時に1つ

を指定。

楽曲

以下の(a)～(d)の中から2曲を選択。

- (a) N. コスト N. Coste : 《舟歌 Barcarolle》
- (b) J. S. サグレラス J. S. Sagreras : 《マリア・レイサ Maria Luisa》
- (c) G. C. リンゼイ G. C. Lindsey : 《雨だれ Rain Drops》
- (d) G. サンス G. Sanz : 《エスパニョレータ Espanoleta》

グレード2

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) A. セゴビア A. Segovia : 《長調と短調の音階 Diatonic Major and Minor Scales》(Columbia Music Co.)
より調号がシャープ、フラット2つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調の音階の中から試験時に1組の調を指定。
- (2) 以下の(a)及び(b)。
 - (a) F. ソル F. Sor : 《32の練習曲》より任意の1曲。
 - (b) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《120のアルベッツォ》より第11～30番までの中から試験時に1つを指定。

楽曲

以下の(a)～(e)の中から3曲を選択。

- (a) L. ヴァルカー L. Walker : 《小さなロマンス Kleine Romance》
- (b) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《ラ・メランコリア La Melancolia》
- (c) F. ターレガ F. Tárrega : 《ラ・グリマ (涙) Lágrima》
- (d) N. パガニーニ N. Paganini : 《ソナチネ》
- (e) J. フェレール J. Fener : 《2つのタンゴ Tangos》

グレード3

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) A. セゴビア A. Segovia : 《長調と短調の音階 Diatonic Major and Minor Scales》(Columbia Music Co.)
より調号がシャープ、フラット4つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調の音階の中から試験時に1組の調を指定。
- (2) 以下の(a)及び(b)。
 - (a) N. コスト N. Coste : 《43の練習曲》より任意の1曲。
 - (b) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《120のアルベッツォ》より第31～60番までの中から試験時に1つを指定。

楽曲

以下の(a)～(i)の中から3曲を選択。

- (a) A. カーノ A. Cano : 《三つのワルツ Tres vales》より任意の曲。
- (b) F. カルツリ F. Carulli : 《序曲》
- (c) G. サンス G. Sanz : 《カナリオス Canarios》
- (d) G. サンス G. Sanz : 《パバーナ Pavana》
- (e) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《ソナチネ》
- (f) F. ソル F. Sor : 《メヌエット集 Menuets》より任意の曲。
- (g) F. ソル F. Sor : 《ワルツ集 Valses》より任意の曲。

- (h) F. ターレガ F. Tárrega : 《アデリータ Adelita》
- (i) F. ターレガ F. Tárrega : 《大ワルツ Gran Vals》

グレード4

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) A. セゴビア A. Segovia : 《長調と短調の音階 Diatonic Major and Minor Scales》(Columbia Music Co.)
より全調の音階を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調の音階の中から試験時に1組の調を指定。
- (2) 以下の(a)、(b)及び(c)。
- (a) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《25の練習曲》より任意の1曲。
- (b) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《3度、6度、8度の練習》より1課題を試験時に指定。
- (c) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《120のアルベッツォ》より第61～90番までの中から試験時に1つを指定。

楽曲

以下の(a)～(e)の中から2曲を選択。

- (a) S. L. ヴァイス S. L. Weiss : 《パッサカリア Passacaglia》
- (b) S. L. ヴァイス S. L. Weiss : 《ファンタジー-Fantasia》
- (c) G. サンス G. Sanz : 《スペイン組曲 (イエベス編) Suite Española》
- (d) F. ソル F. Sor : 《スペインのフォリアによる変奏曲 Les Folies d' Espagne variées》
- (e) F. ターレガ F. Tárrega : 《グラン・ホタ Gran Jota》

グレード5

技術課題

M. カルカッシ M. Carcassi : 《25の練習曲》 op. 60より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(e)の中から2曲を選択。

- (a) A. ラウロ A. Lauro : 《4つのベネズエラ風ワルツ Cuatro valsos venezolanos》
- (b) F. モレーノ=トローバ F. Moreno Torroba : 《カステイーリャ組曲 Suite Castellana》
- (c) F. ターレガ F. Tárrega : 《アラビア奇想曲 Capricho Árabe》
- (d) F. ソル F. Sor : 《幻想曲 Fantasia》
- (e) M. ジュリアーニ M. Giuliani : 《ヘンデルの主題による変奏曲 Variations sur un thème de Handel》

グレード6

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) 各種のセーハの練習 (M. Llobet, J. S. Sagreras, F. Tárrega)。試験時に1課題を指定。
- (2) F. Sor : 《20の練習曲》(セゴビア編) 第1～10番より任意の1曲。

楽曲

以下の(a)～(e)の中から1つを選択。

- (a) I. Albéniz : 《Asturias》
- (b) H. Villa-Lobos : 《Cinco Preludios (5つの前奏曲)》
- (c) M. Giuliani : 《Grande overture (大序曲)》
- (d) D. Scarlatti の《ソナタ》 K. 380、352、又は、322。
- (e) R. de Visée : 《ギター曲集》第1巻より第1番 ニ短調

グレード7

技術課題

以下の(a)、(b)の中から計3曲を任意に選択。

- (a) F. Sor : 《20の練習曲》(セゴビア編) 第11~20番
- (b) F. Tárrega : 《前奏曲集》

楽曲

以下の(a)~(d)の中から2曲を選択。

- (a) J. S. Bach : 《前奏曲》BVW 999
- (b) A. Barrios : 《La Catedral》
- (c) M. Ponce : 《Sonatina meridional》
- (d) G. Regonde : 《Nocturne》

グレード8

技術課題

以下の(a)、(b)の中から計5曲を任意に選択。

- (a) N. Coste : 《25の練習曲》op.38
- (b) L. Legnani : 《36 Caprices》op.20

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。

- (a) J. Rodrigo : 《Invocacion y Danza》
- (b) M. Giuliani : 《ギター協奏曲 イ長調》
- (c) J. S. Bach : 《リュート組曲》第1~4番 BWV996、997、995、1006a より任意の1組曲。

グレード9

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) F. Tárrega : 《35の練習曲》より任意の5曲。
- (2) H. Villa-Lobos : 《12の練習曲》より任意の3曲。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。

- (a) J. S. Bach : 《Prélude, Fugue & Allegro》BWV998
- (b) L. Brouwer : 《ソナタ》
- (c) J. Rodrigo : 《Concierto de Aranjuez (アランフェス協奏曲)》

グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

技術課題

以下の(1)及び(2)。

- (1) F. Tárrega : 《35の練習曲》より任意の5曲。
- (2) H. Villa-Lobos : 《12の練習曲》より任意の4曲。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。

- (a) M. Castelnuovo-Tedesco : 《ギター協奏曲第1番》
- (b) 武満徹 : 《フォリオス》
- (c) F. Monpou : 《Suite Compostelana (コンポステラ組曲)》

マンドリン

グレード1

技術課題

以下の(a)~(c)のどちらかを選択。

- (a) 川口雅行：《マンドリン・レッスン》第1巻 第10番（同一弦上でのピッキング練習）、第13番（多弦上でのピッキング練習）、第24番（トリルの基礎練習）より試験時に1曲を指定。
- (b) 第1ポジション上でのト長調、ハ長調、ヘ長調の音階より1つを指定。
- (c) H. F. オーデル H. F. Odell：《Method for the Mandolin》第1巻 第10~21番、25の技巧練習（第1~8番）より試験時に1曲を指定。

楽曲

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) G. ラヴァ G. Rava：《Duo per due mandolini》より任意の1曲。
- (b) C. ムニエル C. Munier：《12 Duetti in prima posizione》op. 226より任意の1曲。

グレード2

技術課題

以下の(a)~(c)のどちらかを選択。

- (a) 川口雅行：《マンドリン・レッスン》第1巻 第17番（音色の変化）、第24番（トリルの基礎練習）、第27番（毎日の練習の第1~9番）より試験時に1曲を指定。
- (b) 第1ポジション上での♯、♭それぞれ4つまでの長調、短調音階より1つを指定。
- (c) H. F. オーデル H. F. Odell：《Method for the Mandolin》第1巻 第28~36番、25の技巧練習（第16~24番）より試験時に1曲を指定。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1つを選択。

- (a) A. リジェーリ A. Riggieri：《Six Duos for 2 Mandolins》より任意の1曲。
- (b) L. v. カル L. v. Call：《Menuetto-Polonese for mandolin and guitar》より任意の1曲。
- (c) C. ムニエル C. Munier：《12 Duetti in prima posizione》op. 226より任意の1曲。

グレード3

技術課題

以下の(a)~(c)のどちらかを選択。

- (a) 川口雅行：《マンドリン・レッスン》第1巻 第18番（消音の練習よりメヌエット）、第27番（毎日の練習の第10~19番）、第28番（右手のアルペジオ）より試験時に1曲を指定。
- (b) 3ポジションまでの範囲内での♯、♭それぞれ2つまでの長調、短調音階より1つを指定。
- (c) H. F. オーデル H. F. Odell：《Method for the Mandolin》第1巻 第51~53番、3連音符（第3~8番）より試験時に1曲を指定。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。

- (a) L. v. ベートーヴェン L. v. Beethoven：《ソナチネ ハ短調》WoO 43a
- (b) W. A. モーツァルト W. A. Mozart：《来たれ、愛しのツイター-Komm, liebe Zither》KV 351
- (c) R. カラーチェ R. Calace：《Soirée de printemps》op. 53

グレード4

技術課題

以下の(a)~(c)のどちらかを選択。

- (a) H. F. オーデル H. F. Odell: 《Method for the Mandolin》第2巻 38ページまでの前進的練習曲、25の技巧練習(第1~8番)より試験時に1曲を指定。
- (b) 3ポジションまでの範囲内での♯、♭それぞれ4つまでの長調、短調音階とアルペジオより1つを指定。
- (c) C. ムニエル C. Munier: 《Method for the Mandolin》18のスタッカート練習曲(第1~15番)、第2~第3ポジションの練習より試験時に1曲を指定。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1曲を選択。

- (a) W. A. モーツァルト W. A. Mozart 《カンツォネッタ Canzonetta》(「ドン・ジョヴァンニ Don Giovanni」KV527より)
- (b) A. ヴィヴァルディ A. Vivaldi: 《マンドリン協奏曲 ハ長調》RV425
- (c) R. カラーチェ R. Calace: 《ロンド Rondo》op.141

グレード5

技術課題

以下の(a)~(c)のどちらかを選択。

- (a) H. F. オーデル H. F. Odell: 《Method for the Mandolin》第2巻 46~56ページ(練習曲)、25の技巧練習(第9~25番)より試験時に1曲を指定。
- (b) 3オクターブの♯、♭それぞれ4つまでの長調、短調音階とアルペジオより1つを指定。
- (c) C. ムニエル C. Munier: 《Method for the Mandolin》18のスタッカートの練習曲(第16~18番)、第4~第5ポジションの練習、156~160ページ(長調と短調の音階とアルペジオ)より試験時に1曲を指定。

楽曲

以下の(a)~(c)の中から1つを選択。

- (a) A. ヴィヴァルディ A. Vivaldi: 《2台のマンドリンのための協奏曲 ト長調》RV532
- (b) L. v. ベートーヴェン L. v. Beethoven: 《ソナチネ ハ長調》WoO44a、又は、《アダージョ Adagio》WoO43b
- (c) R. カラーチェ R. Calace: 《マズルカ Mazurka》op.141

グレード6

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) H. F. Odell: 《Method for the Mandolin》第3巻 4~16ページ、33ページ(アルペジオの練習)、37ページ(重音第1~20番)、25の技巧練習(第1~12番)より試験時に1曲を指定。
- (b) B. Bartók: 《44 Duos》(for 2 Violins) 第10、17、35、37、38、39番より試験時に1曲を指定。

楽曲

以下の(a)~(d)の中から1曲を選択。

- (a) J. N. Hummel: 《マンドリンとピアノのためのソナタ ハ長調》
- (b) V. Neuling: 《クラヴサンとマンドリンのためのソナタ》op.1
- (c) L. v. Beethoven: 《Andante con variazioni》WoO44
- (d) R. Calace: 《Piccola Gavotta》op.73

グレード7

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) H. F. Odell: 《Method for the Mandolin》第3巻 17～30ページ、35～36ページ（音階の練習）、44～47ページ、25の技巧練習（第13～25番）より試験時に1曲を指定。
- (b) B. Bartok: （2台のヴァイオリンのための）《44 Duos》第16、19、21、28、36、42、43、44番より試験時に1曲を指定。

楽曲

以下の(a)～(d)の中から1曲を選択。

- (a) C. Cecere: 《マンドリン協奏曲》
- (b) C. Munier: 《Capriccio spagnolo（スペイン風奇想曲）》op.276
- (c) L. Chailly: 《Sonatina tristematica N.12》
- (d) 中野二郎: 《春が来たによる変奏曲》

グレード8

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) H. F. Odell: 《Method for the Mandolin》第4巻 76～82ページ（重音の応用練習）、25の技巧練習（第1～12番）より試験時に1曲を指定。
- (b) C. Munier: 《Grandi Studi da concerto》op.200第4番（Gran Tremolo）より試験時に1曲を指定。

楽曲

以下の(a)～(e)の中から1つを選択。

- (a) J. N. Hummel: 《マンドリン協奏曲 ト長調》
- (b) R. Calace: 《マンドリン協奏曲第1番 ホ短調》op.113
- (c) R. Calace: 《前奏曲》第1、2、3、5、10番の中の任意の1曲。
- (d) R. Calace: 《ポロネーズ》op.36
- (e) 近藤譲: 《Ars Brevis》

グレード9

技術課題

以下の(a)、(b)のどちらかを選択。

- (a) H. F. Odell: 《Method for the Mandolin》第4巻 91ページ（各種の伴奏を持ったトレモロ練習の第1～6番）、25の技巧練習（第13～25番）、100ページ（アルペッジョの練習の第6～11番）、108ページ（右手のハーモニックス第1～17番）より試験時に1曲を指定。
- (b) C. Munier: 《Grandi Studi da concerto》op.200第10番 PRUME: 《La Raisonneuse》

楽曲

以下の(a)～(d)の中から1つを選択。

- (a) J. S. Bach: （ヴァイオリンのための）《無伴奏ソナタとパルティータ》BWV 1001-1006の中から任意のソナタ1曲、又は組曲1曲（何れの場合も、全楽章）。
- (b) S. Ranieri: 《マンドリン協奏曲 二長調》
- (c) R. Calace: 《マンドリン協奏曲第2番 イ短調》op.144
- (d) H. Konietzny: 《Kawaguchiana》

グレード10

技術課題・楽曲をあわせて広範囲な時代様式にわたる作品を含む60分程度のプログラムの演奏。

技術課題

技術課題は設けない。

楽曲

グレード9の楽曲から任意の1曲（全楽章）を含むこと。